

平成 18 年 度  
日本丸メモリアルパーク  
事業計画書

帆船日本丸記念財団・JTB 共同事業体

## 平成18年度 事業計画

財団法人帆船日本丸記念財団と株式会社ジェイティービー（以下「JTБ」という。）は共同事業体を組み、平成18年度から22年度までの5年間、日本丸メモリアルパークの指定管理者として指定管理業務を実施していくこととなりました。

本年度は、集客力の向上をはじめ、海洋・海事思想の普及や地域の活性化にも寄与できるよう積極的に事業展開を図り、応募の提案内容を着実に実施していくことにより、多くの市民等に満足していただけるような事業計画を策定いたしました。

### 1 帆船日本丸事業

#### 1 帆船日本丸保存事業

帆船日本丸を良好な状態で保存するために次の整備を行います。

##### (1) 日常保守点検

- ア 観覧者通路・公開区域の安全点検整備
- イ 船内及び甲板清掃、船内真鍮磨き
- ウ マスト・ヤードその他帆装ぎ装の点検整備
- エ 木甲板ピッチ補修
- オ 船体点検整備
- カ その他

##### (2) 年次船体整備

「船舶安全法」に基づく検査にあわせて次の工事を実施します。

- ア 各マストタイハリヤード点検整備
- イ メインマストピンレール更新
- ウ 防災センター天井デッキコンポ打ち替え
- エ コンパスデッキ・デッキコンポ打ち替え
- オ 長船尾楼甲板ウォータウェイ補修
- カ セイルの取替え
- キ 第一種中間検査受検工事
- ク 海洋汚染防止法関係受検工事
- ケ その他

(3) 災害防止

ア 観覧者及び展帆・甲板ボランティアの安全の確保

イ 船内防災センターにおいて火災、浸水及び不法侵入者等に備えて24時間体制で集中監視を実施

## 2 帆船日本丸公開事業

年間を通じてPR活動に取り組み積極的に観覧者の誘致に努めながら帆船日本丸を公開します。

(1) 公開日等

公開日	次の日を除く毎日 月曜日（祝休日にあたる時は公開し、翌日も公開） 年末 12月29日から12月31日まで 船体整備 1月29日から 2月25日まで
公開時間	3月～ 10月 : 午前10時～午後5時 夏季における土曜、日曜日等において午後6時30分までの時間延長を行う。 11月～ 2月 : 午前10時～午後4時30分
観覧料	帆船日本丸・マリタイムミュージアム共通 おとな(高校生以上) 600円(500円) こども(小・中学生) 300円(200円) * ( )内は20人以上の団体料金 18年度はファミリー割引、ペア割引を試行する。

(2) 総帆展帆日

ボランティアの協力を得てセイルを張った美しい姿をより多くの市民に見ていただくとともに、日本丸メモリアルパーク内の賑わい創出を図ります。

4月29日(祝)    5月 5日(祝)    5月28日(日)  
6月25日(日)    7月17日(月)    8月 6日(日)  
8月27日(日)    9月18日(月)    10月 1日(日)  
10月22日(日)    11月 5日(日)    11月26日(日) 計12回予定

(3) 満船飾

祝日及び開港記念日には満船飾を実施し、華やかさをより演出します。

4月29日(祝)    5月 3日(祝)    5月 4日(祝)  
5月 5日(祝)    6月 2日(金)    7月17日(祝)  
9月18日(祝)    9月23日(祝)    10月 9日(祝)

11月 3日(祝) 11月23日(祝) 12月23日(祝)  
 1月 8日(祝) 3月21日(祝) 計14回予定

(4) 登檣礼の実施 7月17日(祝)

(5) 展帆ボランティアの養成

総帆展帆実施のための要員確保を図るために年2回一般市民からボランティアを募集し養成します。(1回約30人募集)

### 3 青少年錬成事業

海のロマンを象徴する帆船日本丸は青少年が団体生活に親しむ教育訓練及び海、港、船に関心を高め関連する知識を学ぶ格好の教材です。

帆船日本丸を活用して青少年錬成のための海洋教室を開催し海事思想の普及を図ります。

(1) 海洋教室の概要

ア 目的

帆船日本丸での規則正しい団体生活を通じて青少年にたくましい体力と精神力そして協調性・友愛・責任感・注意力等を培い、海、船、港に関する理解と知識の増進を図ります。

イ 対象

小学生以上(1日コース及び宿泊コースは4年生以上)

ウ 内容等

種 類	内 容	募集見込数
半日コース (4時間コース)	概要説明、船内見学、甲板清掃、映画鑑賞 操帆訓練、登檣訓練、結索訓練	400人
1日コース (7時間コース)	概要説明、船内見学、甲板清掃、映画鑑賞 操帆訓練、登檣訓練、結索練習、カッター訓練	300人
宿泊コース	概要説明、船内見学、甲板清掃、映画鑑賞 操帆訓練、登檣訓練、手旗訓練、避難訓練 懇談会、船長講話、結索訓練、カッター訓練、 運動会、マリタイムミュージアム見学	700人

エ 市内の小学校が取り組む総合学習の一環としての体験学習や課外クラブを海洋教室の一環として受け入れます。

オ 諸団体と連携し、財団法人帆船日本丸記念財団の錬成事業の特色を活かした新しいタイプの海洋教室を展開します。

#### 4 教育普及事業

帆船日本丸を活用して、日本丸の魅力と帆船の文化を知ってもらうため次の事業を行います。

- (1) ロープワークと船内案内  
日本丸乗組員の案内による普段見ることのできない船底などを含む船内見学と帆船に欠かせないロープワーク教室を実施します。
- (2) 日本丸バウスプリット渡りと船内案内  
日本丸乗組員の指導でバウスプリット渡りを行い帆船作業の一端を親子で体験してもらうとともに、船内見学を行います。
- (3) 親子海洋教室  
日本丸で甲板みがきや展帆作業、ロープワークなどを体験し、帆船の作業と生活を学んでもらいます。
- (4) カッター教室  
小中学生を対象に帆船訓練の一つであるカッターボート体験を大岡川内水域で実施します。
- (5) ミニボトルシップ教室  
ビンのなかで模型の船をつくるボトルシップの初級者編を行い、帆船に親しんでもらいます。

## 2 横浜マリタイムミュージアム事業

### 1 常設展示事業

横浜マリタイムミュージアムの中心事業として、横浜港と日本の近代化をテーマにした5つのゾーンで構成されている展示品を一般公開し、かつ、常に良好な状態を保つよう維持保全します。

#### (1) 公開日等

公開日	次の日を除く毎日 毎週月曜日(祝休日にあたる時は公開し、翌日が休館日) 年 末 12月29日～12月31日 くん蒸消毒期間 1月29日～ 2月 2日
公開時間	帆船日本丸に同じ
観覧料	帆船日本丸と共通券 帆船日本丸が船体整備中はマリタイムミュージアム単独券を発行

#### (2) 保 守

常設展示にはコンピューター、レーザーディスク、DVD、モニターなどを複合的に組合わせた映像展示等が多いため、職員による日常的な保守及び軽微な修繕のほか専門業者による保守点検、清掃を定期的実施します。

このほか、故障及び劣化、老朽化した展示品の修理、補修を適宜行い展示品の良好な維持管理を図ります。

## 2 特別展示事業

横浜マリタイムミュージアムを常に生きた博物館とするために、常設展示のテーマをより深めたものや常設展示では扱えなかったテーマあるいは日常の資料収集、調査研究の成果に基づいたテーマを設定し企画展を開催します。

また本年度から、秋の企画展のほか2回のテーマ展を開催します。

#### (1) 企画展

10月から11月に「クイーンエリザベス2と横浜港の30年」(仮称)をテーマに開催

#### (2) テーマ展

ア 4月から6月に「みなとの博物館ネットワーク・フォーラムイメージキャラクター作品展」を開催

イ 平成19年2月から4月に「横浜マリタイムミュージアム秘蔵船の模型展」を開催

(3) その他展示会

4月から6月に「帆船日本丸チョコロQ 販売記念 全国の船のチョコロQ展」を開催

### 3 教育普及事業

船や港、海に関する市民の興味や関心、そして学習を深めるため次の事業を行います。

(1) 工作教室

小学生を対象に船に親しみ、船の形と機能を理解するため、ゴム、モーター、ソーラーによって実際に動く船の模型を作ります。

(2) ポートウォッチング

小中学生を対象に横浜港に出かけて港の施設や船の様子を観察し観察表を作成します。

(3) 船の見学会

親子と一緒に参加して横浜港内に停泊中のコンテナ船や巡視船あるいはクルーズ客船などに乗船し船内を見学します。

(4) マリタイムこどものための博物館体験講座-博物館の仕事に挑戦-

小中学生を対象に博物館の裏側の見学や実際の仕事を体験します。

(5) マリタイム大人のための博物館体験講座 - 博物館で働く -

高校生以上の大人向け講座、博物館の裏側の見学や実際の仕事を体験します。

(6) 大人のためのペーパークラフト教室

時間をかけて船のペーパークラフトを作ります。

(7) 海の地図教室

親子一緒にさまざまな海の地図についての話と海図を使った作業を行います。

(8) なるほど！ミナト散歩

学芸員や関係機関の人の案内で横浜港内をめぐり、港の歴史や現状を学びます。

### 4 調査・研究・収集・出版活動事業

(1) 資料調査・研究等事業

横浜港を中心に資料の調査・研究・収集・整理・保存を行い、その成果を広く公開するとともに展示や教育活動に反映させます。

(2) 出版活動

マリタイムミュージアムニュース、企画展に合わせた図録等を出版します。

(3) 資料貸出し・レファレンス

資料の貸出しや閲覧、問合せ・照会等レファレンスサービスを行います。

## 5 ライブラリー事業

港や船、海に関する図書・雑誌・ビデオ(映像)等を収集、公開し、利用者に学習、研究の場を提供します。

(1) 公開日・公開時間

ミュージアムの公開時間と同じ。

ただし、閉室時間はミュージアムの閉館の15分前

(2) 利用方法

ミュージアムの入館者の利用は無料。ライブラリーのための利用は1人100円。

コピーサービス(著作権の範囲内・有料)あり。

レファレンスサービスあり。

ライブラリー以外に書庫の図書、逐次刊行物も利用可。

館外貸出しは行ないません。

(3) 収集計画

港湾、港運、海運、船舶、航海等に関する図書、逐次刊行物、ビデオ等の収集を行います。

(4) 整理

収集した図書を装備、配架し、またカード目録を作成し利用者の利便を図ります。

(5) 保守

映像装置等の保守点検を定期的に行い良好な状態を維持します。

### 3 日本丸メモリアルパーク事業

指定管理施設が、公共施設としてふさわしい安全管理と環境を維持するとともに、有効利用を図るため、次の事業を行います。

#### 1 港湾緑地の維持管理

利用者の安全管理、景観・緑地保全、美化清掃を実施して、施設の環境の維持保全を図ります。また、撮影及び催事の利用許可と利用調整も行ないます。

#### 2 研修施設(訓練センター)の管理運営

訓練センターの一般貸出を行い、利用率を高め有効活用をします。夜間についても午後10時まで貸出します。

### 4 集客・プロモーション事業

JTBの集客・プロモーション能力を活かし、効果的な営業、誘客活動、イベント企画、広報活動を展開して、利用者増加と賑わいづくりに努めます。

#### 1 生徒の無料観覧

こども及び学校利用を促進するため「土曜日の高校生以下無料観覧」と「授業の一環として来館する市内の高校生以下の無料観覧」を実施します。

#### 2 共通チケット「ウミキュー」発行

日本郵船博物館、開港資料館と水上バスが利用できる格安共通チケット「ウミキュー」（「みなと横浜ミュージアム・クルーズ」の愛称）を発行し、集客に結び付けます。

#### 3 新聞販売店との提携

新聞販売店と提携して入場券を発行し、新聞購読者に配布して入場者の増加を図ります。

#### **4 観光キャンペーンへの参加**

横浜観光コンベンションビューロー主催の観光キャンペーンや商談会へ参加し、他都市の旅行業者へ営業活動を行い、修学旅行をはじめとする団体旅行客の誘致を行います。

#### **5 JTBの旅行企画等への働きかけ**

JTB の各支店が主催する旅行商品やグループ会社主催の教育旅行等の企画への組み込みを積極的に行います。また JTB の旅行雑誌「るるぶ」誌上での紹介等も併せて行ないます。

#### **6 観光施設や旅行代理店との連携**

周辺や関連する観光施設、イベントと連携して利用促進を図るとともに、他の旅行代理店への営業活動を展開し、誘客ターゲットを多角化します。また、旅行エージェント各社へ積極的にアプローチし、合同プレゼンテーション等を実施します。

#### **7 コンサート等の開催**

総帆展帆日を中心にした吹奏楽演奏会(横浜吹奏楽連盟との共催)やジャズコンサートなど、パークを活用したコンサートやウォークラリーなどの各種イベントを誘致、開催します。

#### **8 FMヨコハマの生放送**

賑わいと施設の PR のために、FM ヨコハマの生放送にパークやマリタイムミュージアムを臨時スタジオとして提供します。

#### **9 ゴールデンウィークと正月のイベント**

ゴールデンウィークの期間中に風船とワイヤーアートのパフォーマンスやペーパークラフト教室、日本丸船長服記念撮影会、船の缶バッジ作りなどのイベントを毎日実施します。また、1月には新春餅つき大会を友の会との共催で開催します。

## 5 自主事業

帆船日本丸及び横浜マリタイムミュージアム、研修施設(訓練センター)、緑地を活用し、また関係機関、周辺施設と連携して、賑わいづくりと利用者サービスの向上、収入の確保を考慮して、様々な事業を展開します。

### 1 日本丸ウェディング事業

横浜プロモーション事業の横濱ウエディングの一つとして、日本丸船長立会いによる帆船日本丸船上結婚式を4月から実施します。日本丸の新たな魅力開拓と利用者増につなげます。また、日本丸婚礼写真撮影プランも実施します。

### 2 朝市の開催

地元市場等と連携して朝市を開催し、みなとみらい来街者に産品等を提供するとともに賑わいを創出します。毎月開催。

### 3 フリーマーケット事業

市民交流の場、またリサイクル活動の場として、リサイクル運動市民の会と共催で、1号ドック周辺やマリタイムミュージアム屋上を活用して、毎月フリーマーケットを開催します。

### 4 横浜港ボートパーク事業

日本丸プールで足漕ぎボートや手漕ぎボートを貸出し、海に親しめるボート事業を実施します。

### 5 オリジナルグッズの開発

ミュージアムショップ等で販売する魅力的なオリジナルグッズを企画開発し、販売向上に努めます。第1弾として、こどもから大人までに人気のある玩具チョコQで帆船日本丸チョコQを製作・販売します。

### 6 桜木町側入口にあるブースの活用

メモリアルパークへの利用者の流れを誘導する案内場所として、また、グッズ販売や軽飲食を提供する場として活用していきます。

平成18年度 収支予算書

平成18年4月1日から平成19年3月31日まで

(単位：円)

科 目	予 算 額
[収入の部]	
1 利用料金収入	43,941,000
観覧料収入	35,398,000
閲覧室収入	17,000
ミュージアム特別展示室使用料	210,000
研修施設使用料	2,144,000
緑地使用料	490,000
海洋教室等収入	5,082,000
共益費収入	600,000
2 受託事業収入	352,000,000
指定管理者業務受託事業	352,000,000
3 助成・協賛金	4,000,000
4 自主事業収入	39,573,000
横浜港ポートパーク事業収入	11,040,000
記念品販売収入	14,071,000
新企画イベント収入	2,000,000
利用料金関連収入	1,984,000
自販機手数料	9,000,000
雑収入	1,478,000
補助金収入	0
当期収入合計 (A)	439,514,000
[支出の部]	
1 施設運営事業費	117,690,000
帆船日本丸等施設運営費	117,690,000
2 指定管理者施設管理費	282,251,000
人件費	164,576,000
その他	117,675,000
3 自主事業費	39,573,000
横浜港ポートパーク事業費	9,600,000
記念品制作費	8,269,000
自主事業管理費	21,704,000
4 特定預金支出	0
当期支出合計 (B)	439,514,000
当期収支差額 (A-B)	0

# 帆船日本丸記念財団・JTB共同事業体組織図

2006.4.1 現在

